

平成 29 年度 事業 報告 書

法人の名称 認定特定非営利活動法人 A I D S ネットワーク横浜

1 事業の成果

① 一般社会に対する教育、啓発活動

ア 第 25 期ボランティア学校開催事業（A I D S 文化フォーラム in 横浜参加事業）
エイズの知識をひろめ、一般市民への啓発を促進すること、教員、福祉関係者、電話相談員の研修やボランティア活動の人材養成を目的に毎年実施しており、専門的な分野を多岐にわたって学習できる内容で展開した。

一般参加者は教育、福祉関係者以外も多く、電話相談員と共に、日々変化する状況を知り、進歩する医療事情を知るなど有効な研修となった。今年度は A I D S 予防財団の助成を受けて一般参加者の受講費を無料に出来、延べ参加者数は過去 5 年間平均 127 名に対して 223 名と倍近くに増加した。

2 講座をエイズ文化フォーラム in 横浜において開催した。一般市民の方の参加が多くあり、啓発に有効であった。

ウ 世界 A I D S デー in Yokohama 参加事業

横浜 A I D S 市民活動センター、横浜市健康福祉局などとの共催で、横浜駅東口そごう前広場において開催。広く一般市民に、H I V・A I D S に眼を向けてもらうことを目的に、会員手製のレッドリボンとエイズパンフレットの配布をし、来場者とともにレッドリボンの製作を行った。併せて、子供にも関心をもってもらうため、パズルも用意した。H I V、A I D S への関心を高められた。

エ 出前講座

行政 1、団体 1、高等学校 5、中学校 2、団体 1 より依頼があり、9 回開催した。H I V、A I D S を含んだ、「性の話」の要請が多く、合わせて 2,000 名程の方々への啓発活動となった。

② 電話相談事業

匿名、無料の相談で、全国からかかってくる。H I V についての疑問や感染不安などに耳を傾けているが、不安によるノイローゼ的な症状を訴える方は減りつつあるが、相談件数は変わっていない。20 代から 30 代の若年層の相談件数が多く、M S M の方の相談が増えている。不安を抱える方々の、不安を軽減する窓口となっているだけでなく、相談後に検査に向かう方も多く、予防活動に貢献できている。

③ ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動

ア ニュースレターの発行

207～212 号の 6 回発行した。本法人の活動の報告、各種の研修会や講座の報告、書評、講座の情報などを掲載した。本法人のホームページにニュースレターをアップし、更新していることで、一般に向けての H I V/A I D S についての啓発、研修の機会となっている。

イ ホームページ公開、更新事業

ホームページ閲覧者を視野に H I V/A I D S の理解と予防啓発、共生社会に向けての活動を行った。ホームページについては広く閲覧されているようで、問い合わせ、資料請求などがある。

④ この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）

ア 財務部

寄付金の受付と補助金の獲得などに努めた。今年度はある団体から創立周年記念の特別寄付金を戴き、寄付金額が増加した。イベント開催やパンフレットの更新・作成のための「行事積立金」に 300,000 円を積み立てることができた。

イ 事務局

特定非営利活動に係る事業に必要な諸手続き、調整、連絡などを日常的に行い、活動の立案、情報交換、調整を検討する運営委員会を、8月を除く毎月開催した。本法人の円滑な運営に貢献した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 一般社会に対する教育、啓発活動に関する事業

ア ボランティア学校開催事業、AIDS文化フォーラム in 横浜参加事業

- ・内 容 HIV、AIDSに関する様々な分野の10講座を、講師9名から5日間で実施
- ・日 時 7月～9月
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
神奈川県民センター（AIDS文化フォーラム in 横浜）
- ・従事者人員 延べ48人
- ・受益対象者 一般社会人、本法人電話相談員・会員 延べ223人
- ・支 出 額 358,702円

イ 世界AIDSデー in Yokohama 参加事業

- ・内 容 レッドリボン製作、子供向けパズル遊び、パンフレット配布。パズル92家族、リボン製作54名を集客した。他にも、クイズやビデオ上映、マスコットキャラクター活動に協力。
- ・日 時 11月21日（日）
- ・場 所 横浜駅東口新都市プラザ
- ・従事者人員 延べ21人
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・支 出 額 26,963円

ウ 出前講座事業

- ・内 容 学生、成人に対する啓発講演活動で、学校を中心に9回実施。
- ・日 時 通年。要請により実施。
- ・場 所 要請者が指定する場所。多くは体育館、教室。
- ・従事者人員 延べ18人（打ち合わせ含む）
- ・受益対象者 中・高生徒、大学生、社会人 約2,000人
- ・支 出 額 47,414円

エ 行事積立金事業

- ・内 容 イベント開催、パンフレット更新のための資金を積み立てる。
- ・支 出 額 300,000円

② 電話相談事業

- ・内 容 一般市民からのHIV、AIDSにかかわる電話相談。
- ・日 時 毎週、水（18:00～21:00）、土（15:00～18:00） 計95回
- ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
- ・従事者人員 延べ255人（事務作業、研修活動を含む）
- ・受益対象者 一般市民794人
- ・支 出 額 302,617円

③ ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動に関する事業

ア ニュースレター発行事業

- ・内 容 会員・関係者に対して、本法人の活動、様々な情報を発信。

- ・日 時 年間7回発行
 - ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
 - ・従事者人員 延べ24人
 - ・受益対象者 会員および関係団体。次のイにより一般市民多数。
- イ ホームページ公開、更新事業
- ・内 容 不特定多数の方を対象として、ホームページを随時更新し、ニュースレターや、様々な情報を公開。
 - ・日 時 通年
 - ・場 所 横浜AIDS市民活動センター
 - ・従事者人員 延べ11人
 - ・受益対象者 一般市民多数
 - ・ア、イの支出額計 97,374円
- ④ この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）
- ・内 容 会計・書類作成・提出などの事務的業務。運営委員会による、企画・調整業務。
 - ・日 時 通年
 - ・場 所 横浜AIDS市民活動センター内法人事務所
 - ・従事者人員 延べ80名
 - ・受益対象者 一般市民多数
 - ・支 出 額 206,448円